

令和6年度契約監視委員会（第1回）議事要旨

1. 日時 令和6年6月10日（月）15:00～17:00
2. 場所 大学改革支援・学位授与機構 小平本館コンベンションホール
3. 出席者
(委員) 草加委員長、小笠原委員、柴委員
(事務局) 管理部長、会計課長、会計課契約係長、会計課総務係長（兼）資産管理係長、
会計課資産管理係主任、会計課契約係員、
研究開発部長、総務課研究支援・広報戦略係長、
大学ポートレート・大学情報基盤センター事務室長補佐、
大学ポートレート・大学情報基盤センター事務室大学情報システム係長、
総務課情報企画支援室情報戦略係長、
総務課情報企画支援室情報戦略係主任、
監査室長、監査係長
陪席者：大学ポートレート・大学情報基盤センター事務室長
4. 議事
議事に先立ち、令和5年度第2回の議事要旨（案）が確認され、了承された。

(1) 令和6年3月分までの契約について
前回点検後の令和5年10月から令和6年3月の間で契約を締結したものを対象として、①一者応札・応募となったもの、②新たに随意契約を締結したものなどについて点検を行った。

※主な質疑の概要については、【別紙】参照。

(2) 令和5年度調達等合理化計画の実施状況に係る自己評価（案）の点検について
「令和5年度調達等合理化計画の実施状況に係る自己評価（案）」の審議を行った。
審議の結果、原案のとおり了承された。

(3) 令和6年度調達等合理化計画の策定（案）の点検について
「令和6年度調達等合理化計画の策定（案）」について審議を行った。審議の結果、原案のとおり了承された。

(4) その他
次回の契約監視委員会は、今回点検した以降の契約について、契約の適正性、妥当性の検証を行うこととし、令和6年11月～令和7年3月頃に実施することが確認された。

以 上

質疑概要

○令和6年3月分までの契約について

① 一者応札・応募となった契約等の点検〔2件〕 ・『大学ポートレート大学情報システム国内向け情報発信サブシステム検索及びお気に入り機能改修 一式』 ・『統合脅威管理機器（UTM）一式』	
確認事項・意見	回答
「大学ポートレート大学情報システム国内向け情報発信サブシステム検索及びお気に入り機能改修 一式」 ・仕様書配付先へのアンケートで、辞退の理由として「要件を満たせないため」「求められる要件が厳しかったため」という内容が見受けられるが、具体的にはどのような部分に支障があったのか。 ・システムの改修はどのような機会で行っているのか。 ・主にどのような利用者を想定したシステムなのか。	・例えば、参入にあたり「ISO 認証」を取得する必要がある、取得費用が生じ負担であるといった業者からの意見があった。 ・会議等の意見聴取を踏まえ、必要に応じて改修を行っている。 ・大学進学希望者や高等学校の教員等を主に想定している。
『統合脅威管理機器（UTM）一式』 ・役務について、「構築作業のため保守も含む」ということだが、予定価格算出内訳明細書には記載されているのか。 ・今回導入したシステムは何年間使用できるのか。 ・機器更新は導入業者でなくても行えるのか。 ・入札辞退にはどのような原因が考えられるのか。 ・入札辞退した業者も技術的に対応が可能な業務であるのか。	・予定価格算出内訳明細書には「ハードウェアサポート」として記載している。 ・概ね5年程度を想定している。 ・行うことは可能である。 ・ネットワークセキュリティ機器の根幹の部分であり、新たに参入する場合、更新するにあたって既存のネットワーク確認等のコストが生じ、入札が難しくなっていると思われる。 ・可能な業者もあると認識している。

② 随意契約を締結したものの点検〔1件〕 ・『生体高分子ネットワークパラメータ設計ルール処理系への並列処理機能の追加開発一式』	
確認事項・意見	回答
「生体高分子ネットワークパラメータ設計ルール処理系への並列処理機能の追加開発一式」 ・仕様書では著作権は機構に帰属するとあるが、契約書にも明記されているのか。	・機構では、契約書に仕様書を含めていることから、著作権の帰属は担保されている。
③ 委員会において必要な事項として定めた契約の点検〔1件〕 ・『大学改革支援・学位授与機構（小平2）職員宿舎改修工事（Ⅲ期）』	
確認事項・意見	回答
『大学改革支援・学位授与機構（小平2）職員宿舎改修工事（Ⅲ期）』 ・改修後の部屋の入居状況はどうなっているのか。 ・応札業者は過去機構で実績があるのか。	・改修された部屋は全て入居済である。 ・今回が初めてとなる。